

# 「若手自治体職員による文化芸術振興の実践」

～移動型芸術祭「あいち2022」ポップ・アップ！を事例に～

福島 梓 （長久手市 くらし文化部 生涯学習課）

濱本 綾子 （西尾市 交流共創部 観光文化振興課）

現在開催中の「国際芸術祭あいち2022」の関連企画として、長久手・西尾・蒲郡・半田の4市を巡る移動型芸術祭『「あいち2022」ポップ・アップ！』が開催されました。長久手市では「愛知県立芸術大学 ART SHOP」、西尾市では「西尾市文化振興イベント2022」を独自に同時開催。

本勉強会では、これらを企画した担当職員から、住民に対して芸術文化との距離感を縮めるために、現場でどんなことを考え、同時開催に踏み切り、実践していったのかを伺います。

2022年 10月15日（土） 15時 ～17時頃

愛知芸術文化センター 12階 アートスペースD

名古屋市中区東桜一丁目13番2号

どなたでも参加できます！

参加費 無料（会員・非会員問わず）

定員 先着15名

お申込 右下のQRコードより、申込フォームにアクセスし、所定の情報をご記入の上、10月12日（水）までにお申し込みください。

お問合せ 日本アートマネジメント学会中部部会  
〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井 281  
名古屋芸術大学アートマネジメント 研究室内  
0568-24-0315（内線 685）梶田  
Mail：jaam\_chubu@yahoo.co.jp



## 濱本 綾子（はまもと あやこ）

西尾市出身。愛知県立大学日本文化学科卒。学芸員を目指すも挫折し、2007年西尾市に入庁。子育て支援、介護保険など、福祉部門に10年在籍。その後、なぜか畑違いの水道管理担当を経て「あいちトリエンナーレ2019」に市町村研修生として派遣される。2020年4月より現職。文化振興分野の評価に興味を持ち、日本評価学会評価士認定試験に向けて干し芋を食べながら勉強中。

## 福島 梓（ふくしま あずさ）

長久手市出身。静岡文化芸術大学芸術文化学科卒。大学在学中に名古屋市中区長者町で「N-mark」や「アトラポあいち」の展示運営に関わる。卒業後、2015年長久手市に入庁。福祉部長寿課で6年間、福祉サービスや温泉福祉施設の施設管理運営を担当。2021年4月より現職。これまでに無かった市民参加型の美術展「アンデゴハンダン展」や「眠る美術博覧会」を企画。